

伊丹で学びつづける！
学びをつなげる！
生涯学習アンケート
2025

アンケート集計結果(速報)

伊丹市教育委員会事務局 生涯学習部 社会教育課

TEL 072-764-7814

1. 生涯学習アンケート実施要領

◇実施時期：令和7年4月1日～5月6日

◇対象者：15歳以上（令和7年4月1日現在）の方

◇実施方法：①伊丹市オンライン申請ポータル（二次元コードからのアクセス）
②社会教育施設での紙面配布
（公民館、図書館、ラストホール、きららホール）

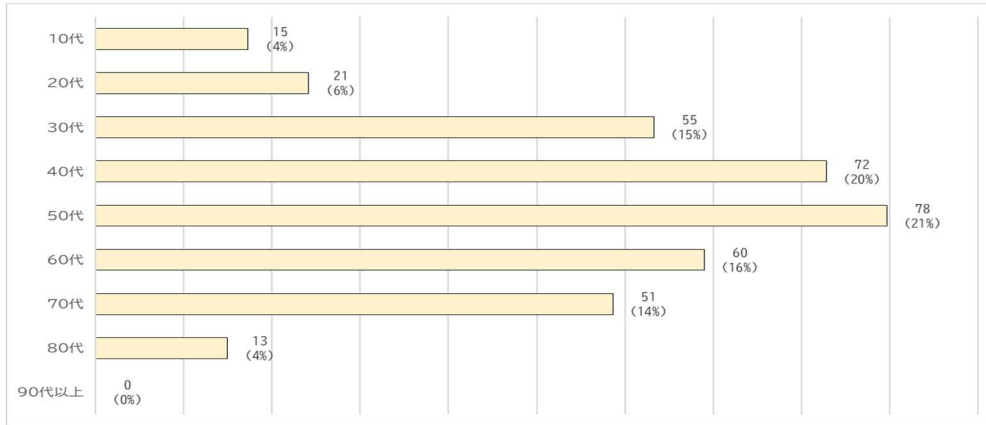
◇回答数：365件

①伊丹市オンライン申請ポータル 294件
②社会教育施設での紙面配布 71件

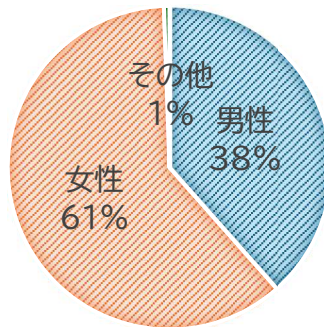
2. 生涯学習アンケート結果

<回答者の属性>

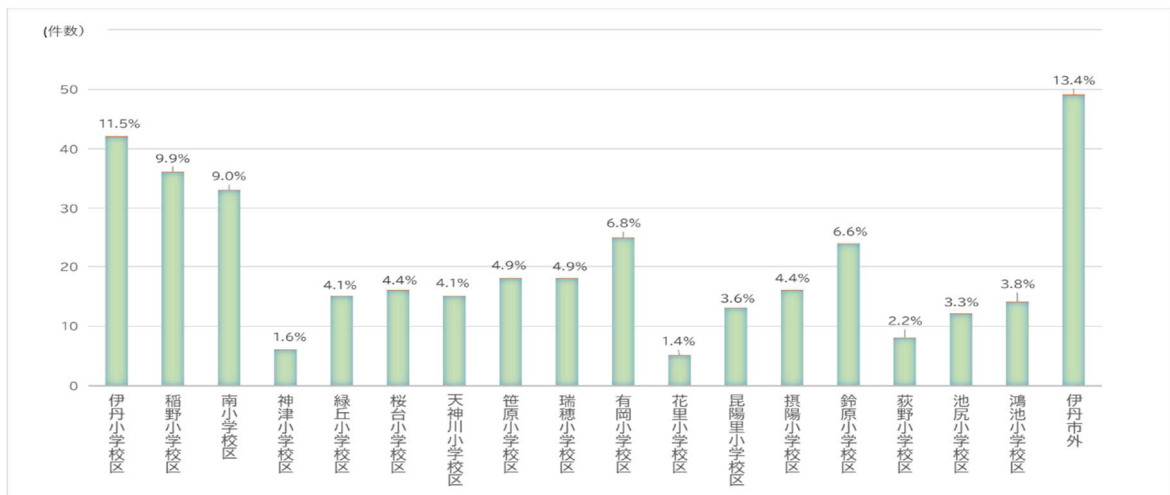
問1 あなたの年代を教えてください。



問2 あなたの性別を教えてください。



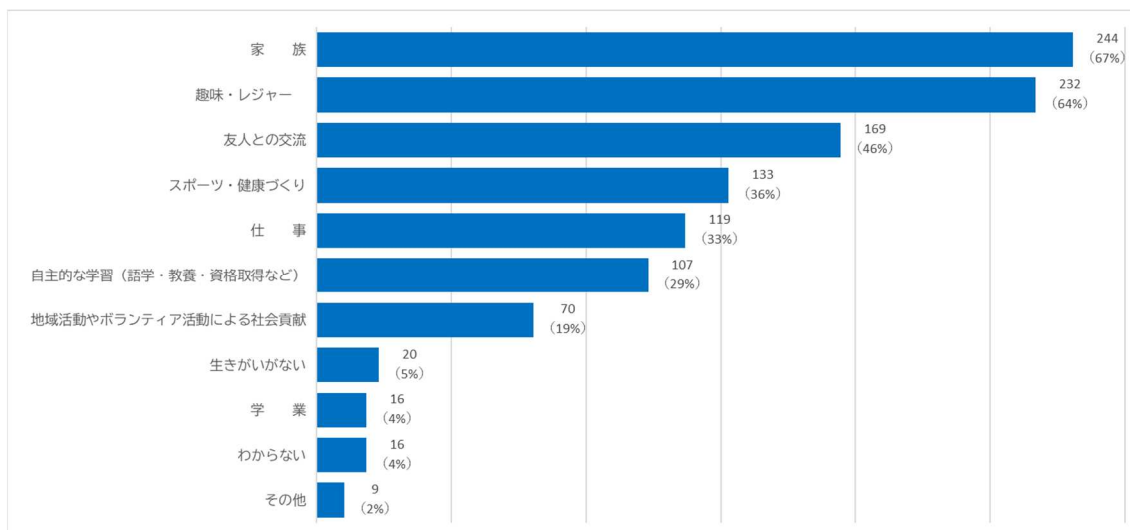
問3 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。



★生きがいについて

問4 あなたの生きがいは何ですか。

<複数回答>



・全体的な傾向を見ると、最も多い生きがいは「家族」(67%)、次いで「趣味・レジャー」(64%)、「友人との交流」(46%)となっています。一方で、「生きがいがない」と回答した人も5%いることがわかります。

・年代別に見ると、30代、40代、60代では「家族」が最も重要な生きがいとなっている一方、10代、80代では「友人との交流」、20代、50代、70代は「趣味・レジャー」が最も多い生きがいになっています。

・性別では、男性は「趣味・レジャー」(62%)、女性は「家族」(71%)が最も多くなっています。一方で、「友人との交流」は女性(53%)の方が男性(36%)より17ポイント高い割合となっています。

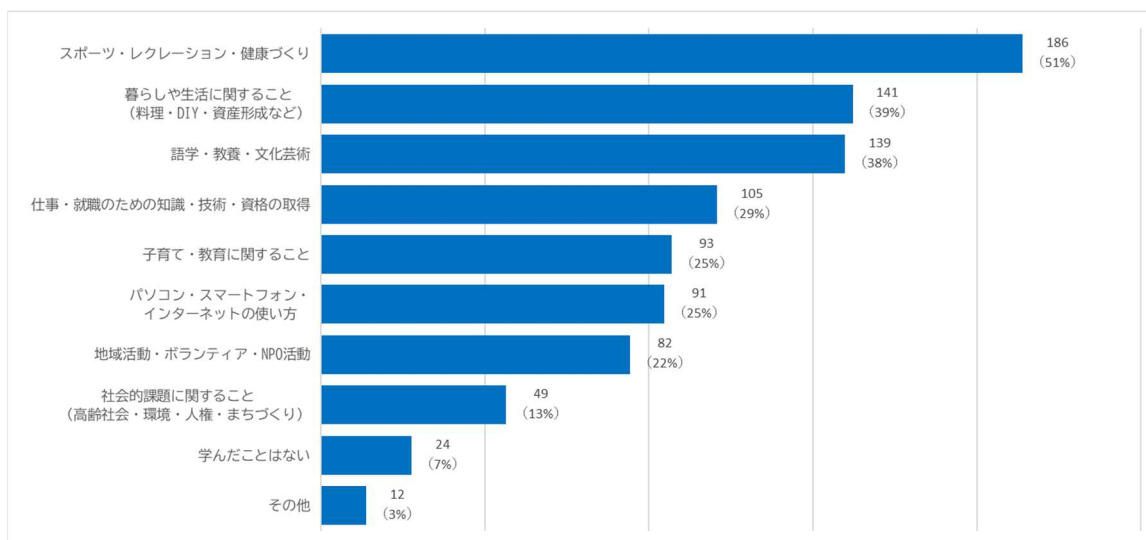
以上のことから、生涯学習における生きがいの傾向は年代や性別によって異なることがわかります。

また、一定割合の人が「生きがいがない」と感じていることも注目すべき点です。生涯学習の推進にあたっては、このような人々のニーズにも配慮し、多様な選択肢を提供することが重要だと考えられます。

★学びについて

問5 あなたはこの1年間にどのようなことを学んだり
身につけたりしましたか。

<複数回答>



・全体的な傾向としては、最も学習・習得が多かったのは、「スポーツ・レクリエーション・健康づくり」、「暮らしや生活に関すること」「語学・教養・文化芸術」、の3つのカテゴリーです。

・年代別にみると、50代から80代までは「スポーツ・レクリエーション・健康づくり」が最も高い割合を示しています。一方、30代、40代以上では「子育て・教育に関すること」が最も高くなっています。

・70代、80代のICT関連の学習ニーズや、20代から60代の社会的課題への関心の低さなど、興味深い結果が得られています。

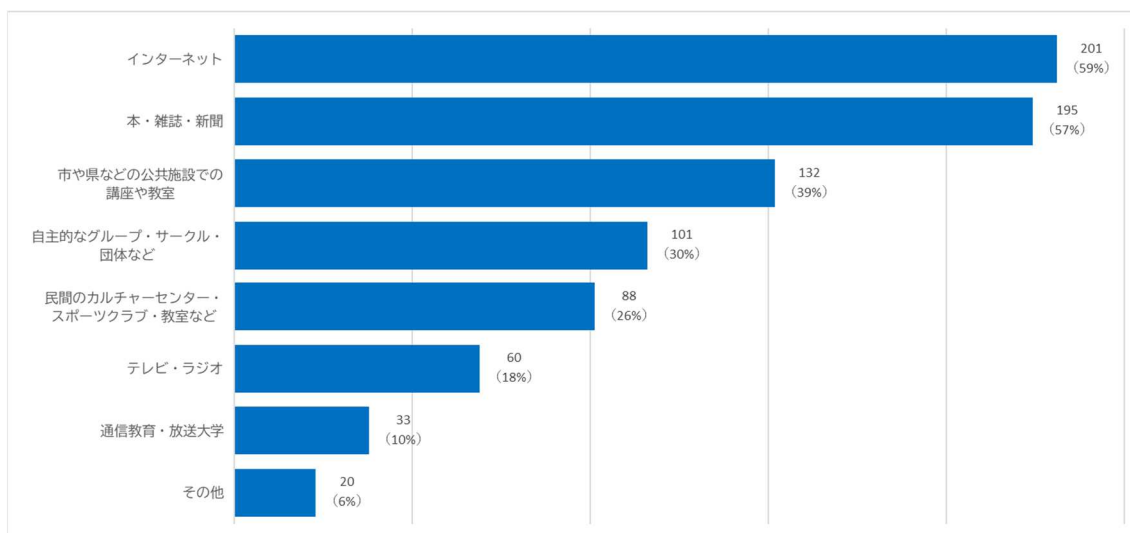
・「学んだところがない」と答えた割合は、80代を除く各年齢層で1割以下となっています。

		スポーツ・レクリエーション・健康づくり	語学・教養・文化芸術	暮らしや生活に関すること (料理・DIY・資産形成など)	パソコン・スマートフォンの使用	子育て・教育に関すること	仕事・就職のための知識・技術・資格の取得	地域活動・ボランティア・NPO活動	社会的課題に関すること (高齢社会・環境・人権・まちづくり)	その他	学んだことはない
全体 (n=365)		186 51%	139 38%	141 39%	91 25%	93 25%	105 29%	82 22%	49 13%	12 3%	24 7%
性別	男性 (n=140)	75 54%	58 41%	48 34%	47 34%	22 16%	41 29%	37 26%	22 16%	7 5%	10 7%
	女性 (n=223)	110 49%	81 36%	91 41%	43 19%	71 32%	63 28%	45 20%	27 12%	5 2%	14 6%
	その他 (n=2)	1 50%	0 0%	2 100%	1 50%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
年代別	10代 (n=15)	8 53%	9 60%	3 20%	2 13%	0 0%	4 27%	0 0%	4 27%	0 0%	1 7%
	20代 (n=21)	9 43%	9 43%	11 52%	4 19%	5 24%	9 43%	2 10%	3 14%	2 10%	1 5%
	30代 (n=56)	22 39%	13 23%	26 46%	8 14%	32 57%	23 41%	10 18%	5 9%	0 0%	1 2%
	40代 (n=72)	29 40%	29 40%	31 43%	19 26%	32 44%	26 36%	14 19%	4 6%	2 3%	5 7%
	50代 (n=76)	48 63%	28 37%	30 39%	16 21%	13 17%	26 34%	13 17%	7 9%	3 4%	5 7%
	60代 (n=62)	33 53%	27 44%	19 31%	16 26%	11 18%	13 21%	17 27%	9 15%	1 2%	6 10%
	70代 (n=51)	32 63%	22 43%	16 31%	22 43%	0 0%	3 6%	24 47%	13 25%	1 2%	3 6%
	80代 (n=12)	5 42%	2 17%	5 42%	4 33%	0 0%	1 8%	2 17%	4 33%	3 25%	2 17%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問 6 (この1年間に学びがあった方にお聞きします)

どのような方法で学びましたか。

<複数回答>



・全体的な傾向として、最も一般的な学習方法は「インターネット」(59%)、「本・雑誌・新聞」(57%)です。

・年代別に見ると、若年層ほど「インターネット」の利用が高く、高齢層ほど「本・雑誌・新聞」の利用が高い傾向にあります。とは言うものの、80代の20%が「インターネット」での学習をおこなっています。

・「市や県などの公共施設での講座や教室」の利用は50代以下は4割未満ですが、60代以上になると5～6割程度となっています。また、性別では、女性の方が男性より高くなっています。

・70代、80代では、「自主的なグループ・サークル・団体」などの活動を通じて学んでいる人が、4割以上となっています。

・「通信教育・放送大学」の利用率は全体的に低めですが、10代、60代を除くと各年代10～2割程度の利用がある。

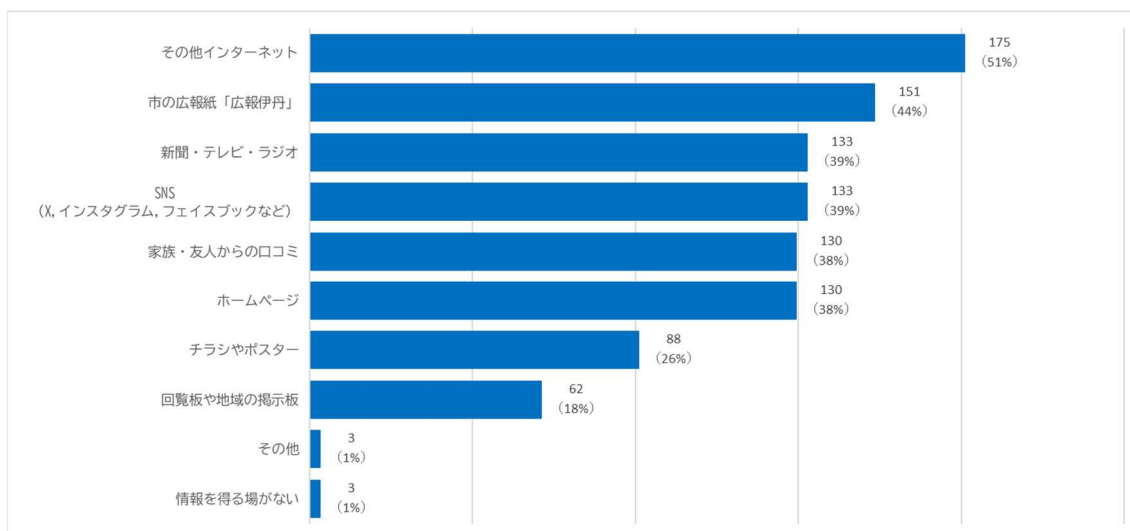
・「その他」の学習方法を利用している人も一定数いることから、多様な学習スタイルが存在していると考えられる。

以上のように、生涯学習における世代間・性別の違いが明確に表れています。これらの分析結果を踏まえ、より効果的な生涯学習支援策を検討することが重要だと思われます。

		市や県などの 講座や教室	民間のカルチャー センター・教室など	自主的なグループ・ サークル・団体など	通信教育・放送大学	本・雑誌・新聞	インターネット	テレビ・ラジオ	その他	
全体 (n=341)		132 39%	88 26%	101 30%	33 10%	195 57%	201 59%	60 18%	20 6%	
性別	男性 (n=130)	37 28%	28 22%	43 33%	13 10%	81 62%	82 63%	22 17%	11 8%	
		94 45%	60 29%	58 28%	20 10%	114 55%	118 56%	38 18%	9 4%	
	女性 (n=209)	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	
		その他 (n=2)								
	年代別	10代 (n=14)	1 7%	1 7%	4 29%	0 0%	5 36%	8 57%	2 14%	2 14%
			20代 (n=20)	2 10%	4 20%	2 10%	4 20%	12 60%	12 60%	1 5%
30代 (n=55)		18 33%	9 16%	21 38%	5 9%	30 55%	38 69%	6 11%	1 2%	
		40代 (n=67)	19 28%	17 25%	14 21%	6 9%	40 60%	44 66%	13 19%	4 6%
50代 (n=71)		26 37%	29 41%	18 25%	10 14%	42 59%	45 63%	12 17%	3 4%	
		60代 (n=56)	29 52%	12 21%	16 29%	1 2%	28 50%	31 55%	9 16%	5 9%
70代 (n=48)		31 65%	15 31%	22 46%	6 13%	32 67%	21 44%	14 29%	2 4%	
		80代 (n=10)	6 60%	1 10%	4 40%	1 10%	6 60%	2 20%	3 30%	0 0%
90代以上 (n=0)		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問7 (この1年間に学びがあった方にお聞きします)
 学ぶための情報を、どのように得ていますか。

<複数回答>



・全体的な傾向として、情報収集の主な手段は、「インターネット」(51%)、「広報伊丹」(44%)の他、「新聞・テレビ・ラジオ」「SNS」(39%)、「家族・友人からの口コミ」「ホームページ」(38%)が上位を占めています。一方で、「情報を得る場がない」と回答した人も1%いることがわかりました。

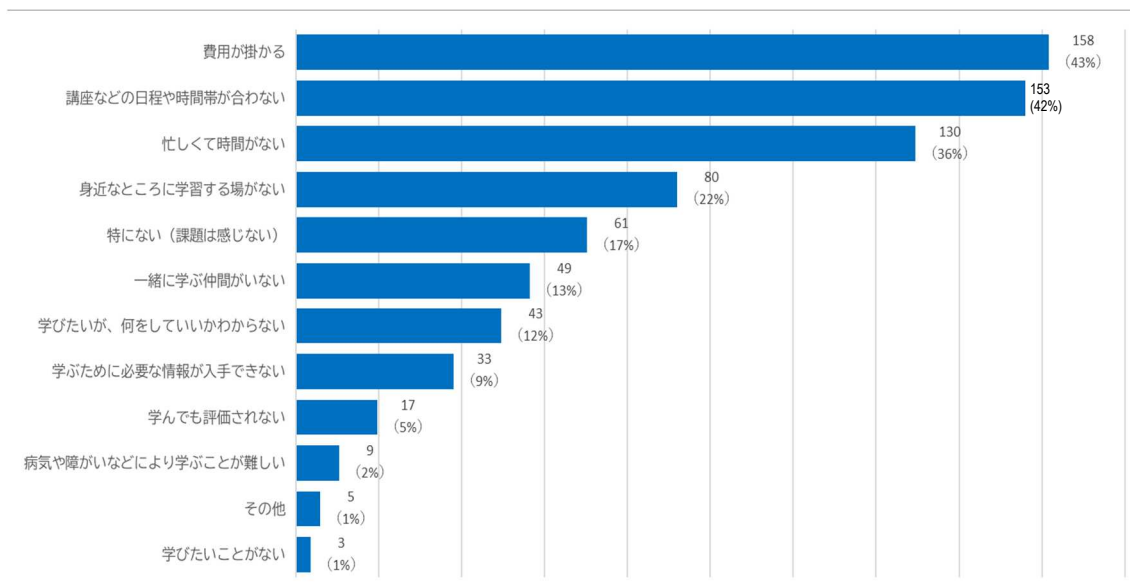
- ・年代別の特徴としては、10代から30代は「SNS」が6割以上と最も高く、40代、50代は「その他インターネット」の利用がそれぞれ5割程度と高い状況です。
- ・60代以上では「広報伊丹」の利用が50%を超えており、高い割合となっています。
- ・80代では、「家族・友人からの口コミ」(80%)と最も高くなっています。
- ・70代、80代では「新聞・テレビ・ラジオ」(60%、70%)、「回覧板や地域の掲示板」(46%、50%)の利用も比較的高い傾向にあります。
- ・「情報を得る場がない」と回答した人は全体で1%と少数ですが、年代別では70代が4%と高くなっています。

以上のことから、年代や性別によって情報収集手段に違いがあることがわかりました。特に高齢者層では口コミや従来メディアの利用が高く、一方で若年層ではSNSやウェブサイトの利用が目立ちます。これらの結果を踏まえ、幅広い世代に効果的に情報を届けるためには、メディアの組み合わせを検討することが重要だと考えられます。

		市の広報紙「広報伊丹」	SNS (X、Instagram、フェイスブックなど)	ホームページ	その他インターネット	新聞・テレビ・ラジオ	チラシやポスター	回覧板や地域の掲示板	家族・友人からの口コミ	その他	情報を得る場がない	
全体 (n=341)		151 44%	133 39%	130 38%	175 51%	133 39%	88 26%	62 18%	130 38%	3 1%	3 1%	
性別	男性 (n=130)	42 32%	48 37%	56 43%	82 63%	51 39%	26 20%	19 15%	43 33%	2 2%	1 1%	
		108 52%	85 41%	73 35%	92 44%	81 39%	62 30%	43 21%	87 42%	1 0%	2 1%	
	女性 (n=209)	1 50%	0 0%	1 50%	1 50%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
		その他 (n=2)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
	年代別	10代 (n=14)	0 0%	9 64%	2 14%	4 29%	1 7%	0 0%	0 0%	4 29%	1 7%	0 0%
			5 25%	14 70%	10 50%	14 70%	6 30%	1 5%	2 10%	9 45%	0 0%	0 0%
20代 (n=20)		22 40%	36 65%	22 40%	25 45%	8 15%	10 18%	9 16%	23 42%	0 0%	1 2%	
		25 37%	27 40%	32 48%	43 64%	24 36%	14 21%	9 13%	22 33%	1 1%	0 0%	
30代 (n=55)		28 39%	28 39%	31 44%	35 49%	30 42%	22 31%	11 15%	21 30%	0 0%	0 0%	
		28 50%	11 20%	16 29%	33 59%	28 50%	19 34%	4 7%	23 41%	1 2%	0 0%	
40代 (n=67)		36 75%	7 15%	16 33%	18 38%	29 60%	18 38%	22 46%	20 42%	0 0%	2 4%	
		7 70%	1 10%	1 10%	3 30%	7 70%	4 40%	5 50%	8 80%	0 0%	0 0%	
50代 (n=71)		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
		60代 (n=56)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
60代 (n=56)		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
		70代 (n=48)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
70代 (n=48)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	80代 (n=10)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
80代 (n=10)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		

問 8 何かを学ぶことに対して、難しさや課題を感じますか。
 感じる場合は、どのようなことですか。

<複数回答>



・全体的な傾向として、最も多く挙げられているのは「費用がかかる」(43%)、「講座の日程や時間帯が合わない」(42%)、「忙しくて時間がない」(36%)といった時間的な制約に関する課題です。

・「身近な学習の場がない」(22%)といった環境面での課題も指摘されています。「必要な情報が入手できない」(9%)、「何をしたらいいかわからない」(12%)といった情報面の課題も存在します。

・「一緒に学ぶ仲間がない」(13%)、「学んでも評価されない」(5%)などの人的や制度的な課題も見られます。

・10代、20代では「忙しくて時間がない」(47%、62%)、「費用が掛かる」(33%、48%)が主な課題となっています。30代、40代では「費用が掛かる」(68%、58%)、「忙しくて時間がない」(52%、50%)が、50代、60代では、「講座の日程や時間帯が合わない」(58%、40%)、「費用が掛かる」(42%、27%)が課題です。

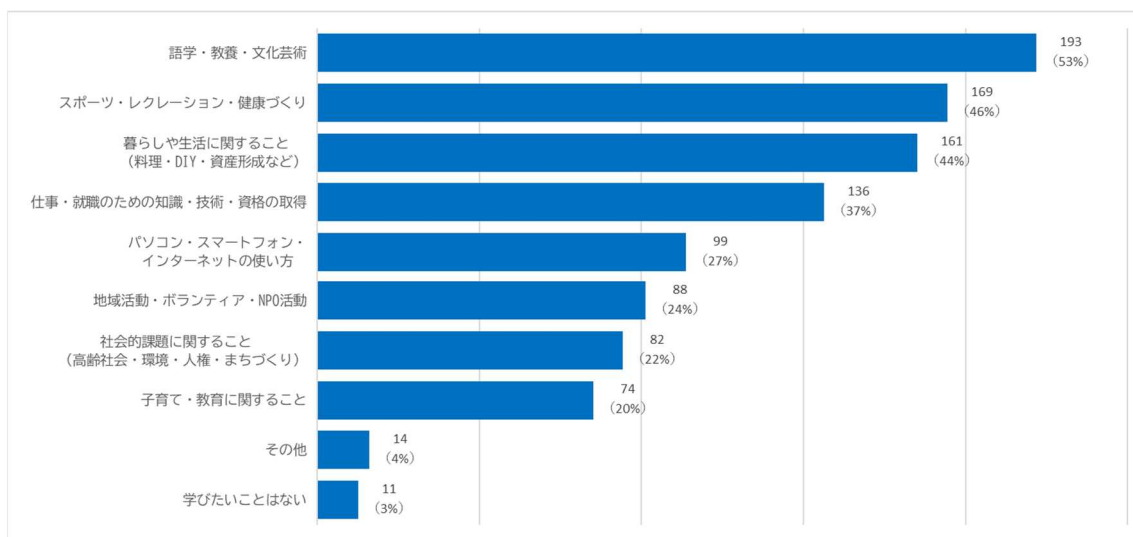
・70代、80代は、課題は「特にない」(33%)が、最も高くなっています。

以上のように、生涯学習に対する課題や難しさは年代によって異なる傾向が見られます。特に時間的な制約や費用面、学習環境の整備が重要な課題であると考えられます。これらの分析結果を踏まえ、ニーズに合わせた学習支援策を検討することが求められます。

		忙しくて時間がない	講座などの日程や時間帯が合わない	身近なところに学習する場がない	費用が掛かる	学んでも評価されない	学ぶために必要な情報が入手できない	一緒に学ぶ仲間がない	病気や障がいなどにより学ぶことが難しい	学びたいが、何をしたいかわからない	学びたいことがない	その他	特にない（課題は感じない）
全体 (n=365)		130 36%	153 42%	80 22%	158 43%	17 5%	33 9%	49 13%	9 2%	43 12%	3 1%	5 1%	61 17%
性別	男性 (n=140)	47 34%	39 28%	29 21%	50 36%	8 6%	11 8%	21 15%	3 2%	18 13%	1 1%	1 1%	33 24%
	女性 (n=223)	81 36%	113 51%	51 23%	107 48%	9 4%	22 10%	28 13%	6 3%	25 11%	2 1%	4 2%	28 13%
	その他 (n=2)	2 100%	1 50%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
年代別	10代 (n=15)	7 47%	1 7%	2 13%	5 33%	1 7%	2 13%	3 20%	0 0%	3 20%	0 0%	0 0%	2 13%
	20代 (n=21)	13 62%	9 43%	5 24%	10 48%	1 5%	2 10%	3 14%	0 0%	3 14%	0 0%	0 0%	3 14%
	30代 (n=56)	29 52%	24 43%	16 29%	38 68%	6 11%	2 4%	11 20%	1 2%	11 20%	1 2%	0 0%	3 5%
	40代 (n=72)	36 50%	35 49%	22 31%	42 58%	3 4%	6 8%	8 11%	4 6%	7 10%	0 0%	2 3%	6 8%
	50代 (n=76)	28 37%	44 58%	13 17%	32 42%	3 4%	7 9%	6 8%	1 1%	5 7%	1 1%	1 1%	12 16%
	60代 (n=62)	6 10%	25 40%	11 18%	17 27%	3 5%	10 16%	11 18%	0 0%	7 11%	0 0%	1 2%	14 23%
	70代 (n=51)	10 20%	12 24%	10 20%	12 24%	0 0%	4 8%	5 10%	2 4%	5 10%	1 2%	0 0%	17 33%
	80代 (n=12)	1 8%	3 25%	1 8%	2 17%	0 0%	0 0%	2 17%	1 8%	2 17%	0 0%	1 8%	4 33%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問9 これから新たに学びたいことは何ですか。

<複数回答>



・全体的な傾向最も人気が高いのは「語学・教養・文化芸術」(53%)、次いで「スポーツ・レクリエーション・健康づくり」(46%)、「暮らしや生活に関すること」(44%)となっています。

・「仕事・就職のための知識・技術・資格の取得」(37%)や「パソコン・スマートフォン・インターネットの使い方」(27%)も一定の人気があります。

・10代は「語学・教養・文化芸術」(60%)「スポーツ・レクリエーション・健康づくり」(53%)が高い人気があります。

・20代から50代では、「仕事・就職のための知識・技術・資格の取得」(48%~61%)のニーズが高いことが特徴的です。

・30代、40代は「子育て・教育に関すること」4割程度とニーズが高いことが特徴的です。

・80代で「パソコン・スマートフォン・インターネットの使い方」(50%)のニーズが高いことが特徴的です。

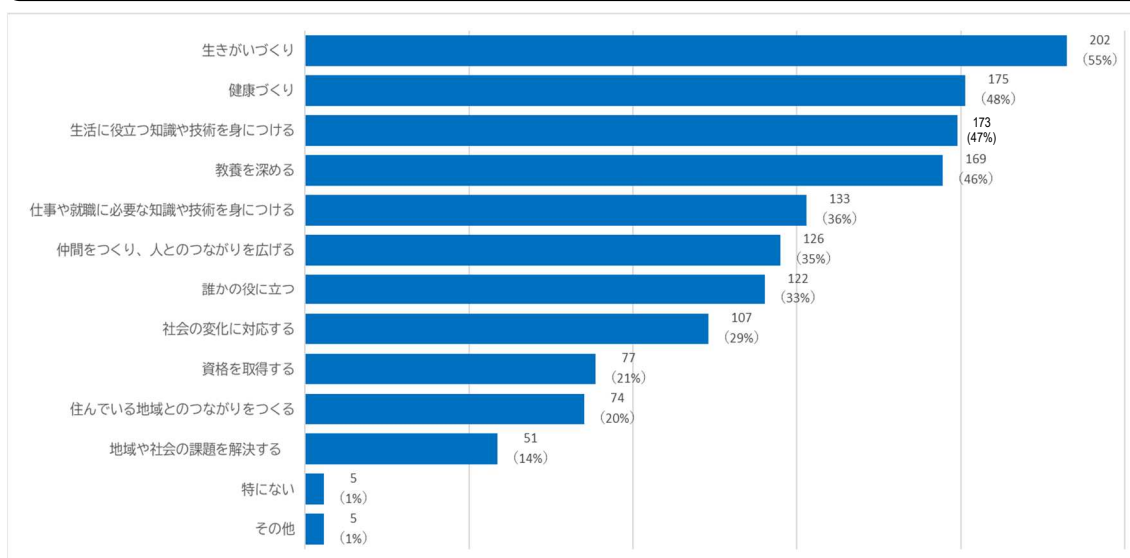
・「社会的課題に関すること」は、他の年代では2割程度に対して、70代では、4割以上と高いことが特徴的です。

・また、一定割合の人が「学びたいことはない」(3%)と感じていることも注目すべき点です。生涯学習の推進にあたっては、このような人々のニーズにも配慮し、多様な選択肢を提供することが重要だと考えられます。

		スポーツ・レクリエーション・健康づくり	語学・教養・文化芸術	暮らしや生活に関すること (料理・DIY・資産形成など)	パソコン・スマートフォンの インターネットの使い方	子育て・教育に関すること	仕事・就職のための知識・技術・資格の取得	地域活動・ボランティア・NPO活動	社会的課題に関すること (高齢社会・環境・人権・まちづくり)	その他	学びたいことはない
全体 (n=365)		169 46%	193 53%	161 44%	99 27%	74 20%	136 37%	88 24%	82 22%	14 4%	11 3%
性別	男性 (n=140)	65 46%	73 52%	57 41%	46 33%	27 19%	49 35%	37 26%	41 29%	5 4%	7 5%
	女性 (n=223)	103 46%	120 54%	102 46%	51 23%	47 21%	86 39%	51 23%	41 18%	9 4%	4 2%
	その他 (n=2)	1 50%	0 0%	2 100%	2 100%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
年代別	10代 (n=15)	8 53%	9 60%	5 33%	5 33%	2 13%	4 27%	2 13%	2 13%	1 7%	0 0%
	20代 (n=21)	11 52%	8 38%	9 43%	4 19%	4 19%	10 48%	2 10%	3 14%	0 0%	2 10%
	30代 (n=56)	25 45%	29 52%	25 45%	8 14%	26 46%	28 50%	13 23%	7 13%	0 0%	0 0%
	40代 (n=72)	35 49%	43 60%	33 46%	18 25%	29 40%	44 61%	18 25%	16 22%	3 4%	0 0%
	50代 (n=76)	33 43%	38 50%	41 54%	19 25%	5 7%	34 45%	17 22%	14 18%	6 8%	2 3%
	60代 (n=62)	36 58%	39 63%	23 37%	17 27%	8 13%	10 16%	17 27%	15 24%	2 3%	2 3%
	70代 (n=51)	18 35%	24 47%	21 41%	22 43%	0 0%	6 12%	18 35%	22 43%	2 4%	2 4%
	80代 (n=12)	3 25%	3 25%	4 33%	6 50%	0 0%	0 0%	1 8%	3 25%	0 0%	3 25%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問 10 学びをどのようなことに役立てたいですか。

<複数回答>



・全体的な傾向として、最も多い回答は「生きがいづくり」(55%)、次いで「健康づくり」(48%)、「生活に役立つ知識や技術を身につける」(47%)、「教養を深める」(46%)の順です。

・「仕事や就職に必要な知識や技術を身につける」(36%)、「仲間をつくり、人とのつながりを広げる」(35%)、「誰かの役に立つ」(33%)、「教養を深める」(46%)、「社会の変化に対応する」(29%)なども比較的多い回答です。

・「住んでいる地域とのつながりをつくる」(20%)、「地域や社会の課題を解決する」(14%)といった社会参加や地域貢献に関する回答も一定数見られます。

・20代、50代、60代は「生きがいづくり」(62%、58%、56%)に役立てたいと答えた割合が最も高くなっています。

・70代、80代は「健康づくり」(65%、92%)に役立てたいと答えた割合が最も高くなっている。

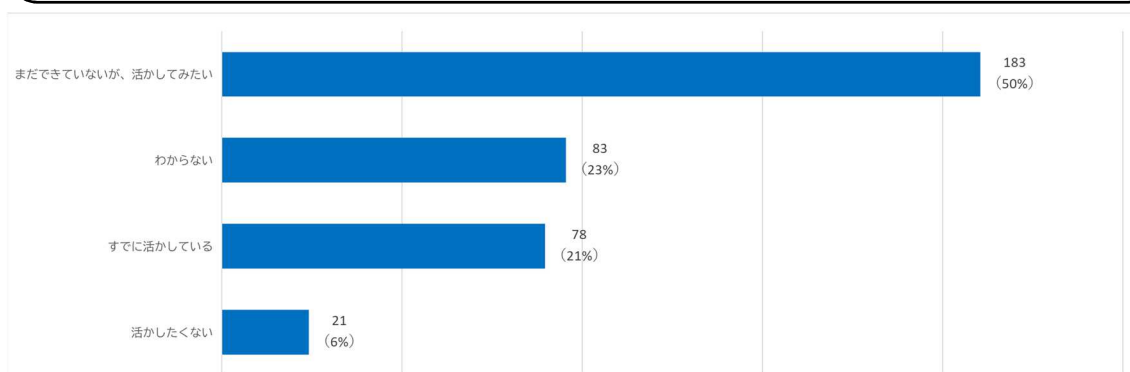
以上のことから、生涯学習に対する主な目的は、「生きがいづくり」「健康づくり」のほか、実用的な知識・技術の習得や教養を高めることであり、年代や性別によって若干の違いが見られることがわかりました。

		生きがいづくり	健康づくり	仕事や就職に必要な知識や技術を身につける	生活に役立つ知識や技術を身につける	資格を取得する	教養を深める	社会の変化に対応する	仲間をつくり、人とのつながりを広げる	住んでいる地域とのつながりをつくる	誰かの役に立つ	地域や社会の課題を解決する	その他	特にない	
全体 (n=365)		202 55%	175 48%	133 36%	173 47%	77 21%	169 46%	107 29%	126 35%	74 20%	122 33%	51 14%	5 1%	5 1%	
性別	男性 (n=140)	84 60%	61 44%	49 35%	65 46%	24 17%	64 46%	47 34%	42 30%	25 18%	44 31%	22 16%	2 1%	3 2%	
		117 52%	112 50%	84 38%	107 48%	53 24%	105 47%	60 27%	84 38%	49 22%	77 35%	29 13%	3 1%	2 1%	
	女性 (n=223)	1 50%	2 100%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%
		その他 (n=2)													
	年代別	10代 (n=15)	6 40%	2 13%	7 47%	8 53%	5 33%	8 53%	3 20%	4 27%	1 7%	6 40%	1 7%	0 0%	0 0%
			13 62%	9 43%	11 52%	11 52%	8 38%	7 33%	4 19%	4 19%	2 10%	1 5%	2 10%	0 0%	2 10%
20代 (n=21)		27 48%	20 36%	32 57%	31 55%	15 27%	29 52%	13 23%	19 34%	14 25%	20 36%	8 14%	0 0%	0 0%	
		40 56%	33 46%	39 54%	41 57%	19 26%	38 53%	21 29%	20 28%	15 21%	20 28%	6 8%	1 1%	0 0%	
30代 (n=56)		44 58%	35 46%	27 36%	35 46%	22 29%	34 45%	28 37%	28 37%	11 14%	30 39%	14 18%	2 3%	1 1%	
		35 56%	32 52%	13 21%	19 31%	5 8%	24 39%	17 27%	21 34%	12 19%	26 42%	9 15%	2 3%	0 0%	
40代 (n=72)		31 61%	33 65%	4 8%	26 51%	3 6%	25 49%	19 37%	24 47%	17 33%	15 29%	11 22%	0 0%	1 2%	
		6 50%	11 92%	0 0%	2 17%	0 0%	4 33%	2 17%	6 50%	2 17%	4 33%	0 0%	0 0%	1 8%	
50代 (n=76)		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
		60代 (n=62)													
60代 (n=62)	31 61%	33 65%	4 8%	26 51%	3 6%	25 49%	19 37%	24 47%	17 33%	15 29%	11 22%	0 0%	1 2%		
	6 50%	11 92%	0 0%	2 17%	0 0%	4 33%	2 17%	6 50%	2 17%	4 33%	0 0%	0 0%	1 8%		
70代 (n=51)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	80代 (n=12)														
80代 (n=12)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	90代以上 (n=0)														

★地域での活動について

問 11 あなたはご自身の知識や経験を、地域での活動やボランティア活動に活かしたいと思いますか。感じる場合は、どのようなことですか。

<複数回答>



・全体の傾向を見ると、回答者の半数近くが「まだできていないが、活かしてみたい」と回答しており、学びの還元に対する意識が高いことがわかります。

・一方で、「すでに活かしている」と回答した人も2割以上いることから、地域活動やボランティアに自身の知識や経験を活用している人も一定数いることがわかります。

・一方で、10代では「まだできていないが、活かしてみたい」が8割を占めており、若年層の関心の高さがうかがえます。

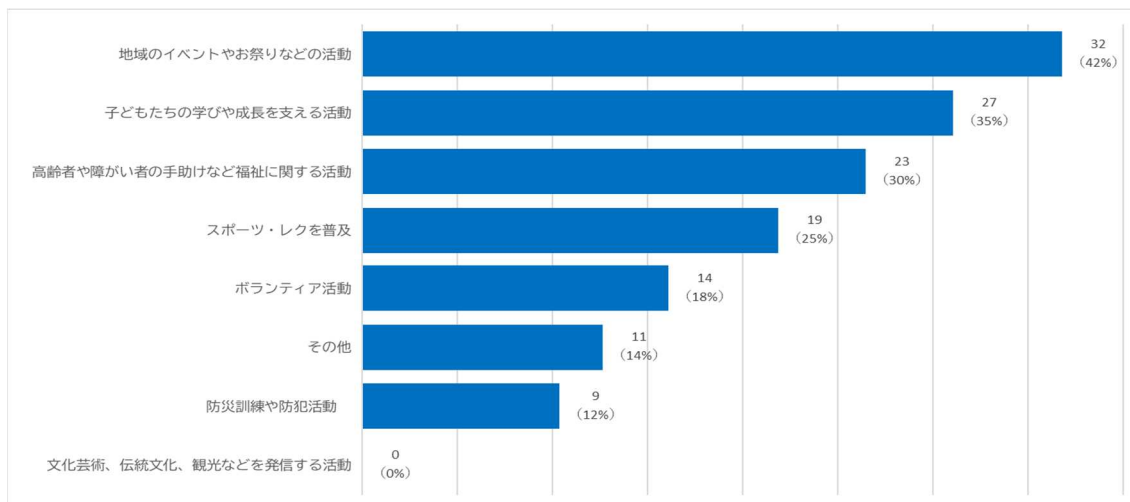
・20代から60代でも、「まだできていないが、活かしてみたい」が4～6割を占めており、今後の地域活動やボランティアへの参加の可能性を示唆しています。

以上のように、アンケート結果からは生涯学習の機会に対する需要の高さと、年代や性別による参加状況の違いが見て取れます。今後は、特に若年層の参加促進するための施策が重要になってくると考えられます。

		すでに活かしている	まだできていないが、活かしてみたい	活かしたくない	わからない	
全体 (n=365)		78 21%	183 50%	21 6%	83 23%	
性別	男性 (n=140)	32 23%	66 47%	9 6%	32 23%	
		46 21%	116 52%	12 5%	50 22%	
	女性 (n=223)	0 0%	1 50%	0 0%	1 50%	
		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
	年代別	10代 (n=15)	0 0%	12 80%	0 0%	3 20%
			2 10%	11 52%	2 10%	6 29%
20代 (n=21)		9 16%	27 48%	3 5%	16 29%	
		9 13%	45 63%	5 7%	13 18%	
30代 (n=56)		10 13%	46 61%	5 7%	17 22%	
		18 29%	26 42%	3 5%	13 21%	
40代 (n=72)		25 49%	14 27%	3 6%	9 18%	
		5 42%	2 17%	0 0%	6 50%	
50代 (n=76)		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
60代 (n=62)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
70代 (n=51)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
80代 (n=12)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		
	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%		

問12 (すでに活かしている方)

どのような活動にご自身の知識や経験を活かしていますか。〈複数回答〉



・全体的な傾向として、最も多いのは「地域のイベントやお祭りなどの活動」で、32人(42%)が該当しています。次いで「子どもたちの学びや成長を支える活動」が27人(35%)、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が23人(30%)と続きます。

- ・30代は「地域のイベントやお祭りなどの活動」「子どもたちの学びや成長を支える活動」が同率(44%)と幅広い活動に携わっています。
- ・40代は「地域のイベントやお祭りなどの活動」(44%)が最も多く、次いで「子どもたちの学びや成長を支える活動」(44%)となっています。
- ・50代は「スポーツやレクリエーションを普及する活動」が60%と最も高く、「地域のイベントやお祭りなどの活動」も40%と活発です。
- ・60代は「子どもたちの学びや成長を支える活動」(39%)と「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」(33%)が目立ちます。
- ・70代は「地域のイベントやお祭りなどの活動」(52%)と「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」(36%)が主な活動です。
- ・80代は「地域のイベントやお祭りなどの活動」と「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が各50%と同率です。

総合的に見ると、地域活動や子育て支援、福祉分野での活用が多く、文化芸術や観光分野での活用が少ないことがわかります。年代や性別によって特徴的な活動も見られます。

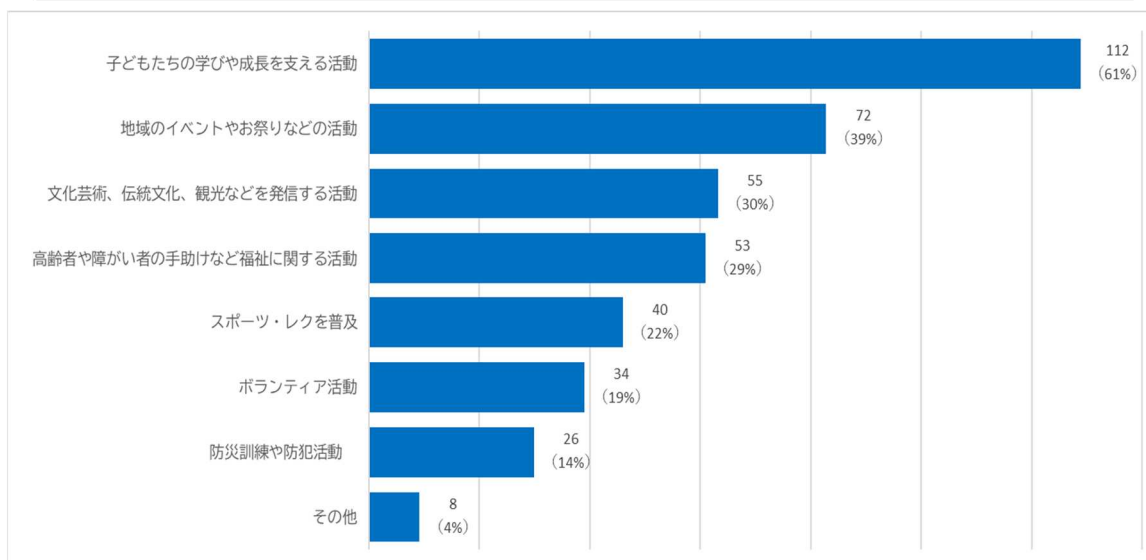
		地域のイベントやお祭りなどの活動	子どもたちの学びや成長を支える活動	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	文化芸術、伝統文化、観光などを発信する活動	スポーツ・レクを普及	ボランティア活動	防災訓練や防犯活動	その他
全体 (n=77)		32 42%	27 35%	23 30%	0 0%	19 25%	14 18%	9 12%	11 14%
性別	男性 (n=32)	13 41%	10 31%	6 19%	0 0%	9 28%	8 25%	3 9%	4 13%
	女性 (n=45)	19 42%	17 38%	17 38%	0 0%	10 22%	6 13%	6 13%	7 16%
	その他 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
年代別	10代 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	20代 (n=2)	1 50%	2 100%	1 50%	0 0%	2 100%	0 0%	2 100%	0 0%
	30代 (n=9)	4 44%	4 44%	1 11%	0 0%	0 0%	3 33%	1 11%	3 33%
	40代 (n=9)	3 33%	5 56%	2 22%	0 0%	2 22%	0 0%	0 0%	1 11%
	50代 (n=10)	4 40%	3 30%	2 20%	0 0%	6 60%	2 20%	1 10%	3 30%
	60代 (n=18)	5 28%	7 39%	6 33%	0 0%	4 22%	2 11%	2 11%	3 17%
	70代 (n=25)	13 52%	6 24%	9 36%	0 0%	4 16%	6 24%	2 8%	1 4%
	80代 (n=4)	2 50%	0 0%	2 50%	0 0%	1 25%	1 25%	1 25%	0 0%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問 13 (活かしてみたい方)

どのような活動にご自身の知識や経験を活かしてみたいですか。

感じる場合は、どのようなことですか。

<複数回答>



・全体的な傾向としては、最も多く選択されたのは「子どもたちの学びや成長を支える活動」(61%)、

次いで「地域のイベントやお祭りなどの活動」(39%)が高い割合でした。

・「文化芸術、伝統文化、観光などを発信する活動」(30%)については、問9の回答から、実際に活かした活動をしている人はほとんどいなかったが、今後してみたい活動としては高い割合でした。

・年代別の特徴としては、全年齢層で「子どもたちの学びや成長を支える活動」が最も高い割合であった一方、次に高い割合だったのは、20代、50代、60代、70代は「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」、それ以外の年代は「地域のイベントやお祭りなどの活動」でした。

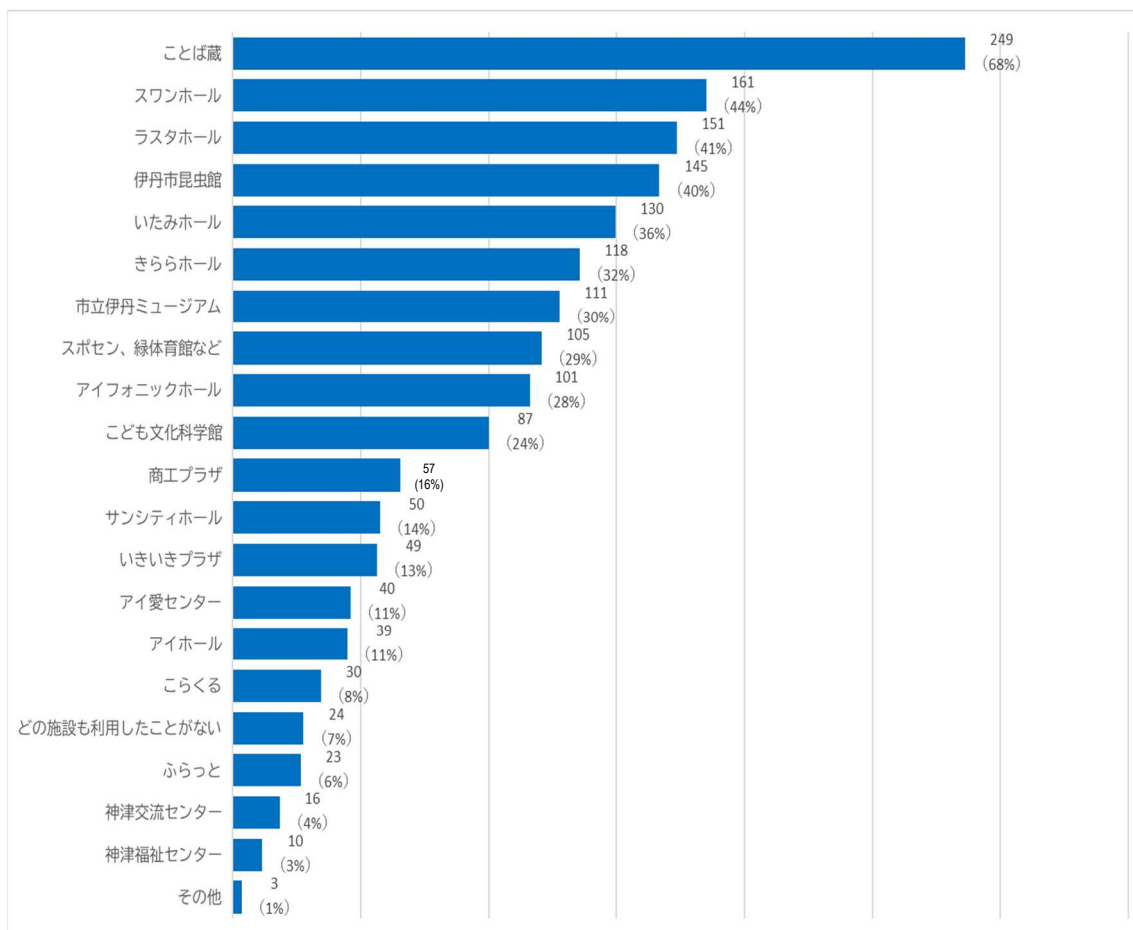
・全体的に、子どもの学びや成長、地域活動、文化芸術・観光などの活動への関心が高いことがわかります。

これらの結果を踏まえ、学んだことを子どもの学びや成長、地域活動、文化芸術・観光などの活動へ効果的につないでいけるような仕組み作りに向けた生涯学習支援策を検討することが重要だと考えられます。

		地域のイベントやお祭りなどの活動	子どもたちの学びや成長を支える活動	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	文化芸術、伝統文化、観光などを発信する活動	スポーツ・レクを普及	ボランティア活動	防災訓練や防犯活動	その他
全体 (n=183)		72 39%	112 61%	53 29%	55 30%	40 22%	34 19%	26 14%	8 4%
性別	男性 (n=66)	33 50%	38 58%	14 21%	23 35%	21 32%	14 21%	11 17%	2 3%
		38 33%	74 64%	39 34%	32 28%	19 16%	19 16%	15 13%	6 5%
	女性 (n=116)	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%
		38 33%	74 64%	39 34%	32 28%	19 16%	19 16%	15 13%	6 5%
	その他 (n=1)	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%
		38 33%	74 64%	39 34%	32 28%	19 16%	19 16%	15 13%	6 5%
年代別	10代 (n=12)	5 42%	5 42%	2 17%	3 25%	2 17%	1 8%	0 0%	0 0%
		2 18%	7 64%	5 45%	1 9%	0 0%	2 18%	2 18%	0 0%
	20代 (n=11)	17 63%	21 78%	8 30%	7 26%	5 19%	7 26%	4 15%	1 4%
		23 51%	32 71%	6 13%	13 29%	12 27%	11 24%	7 16%	1 2%
	30代 (n=27)	14 30%	27 59%	18 39%	16 35%	12 26%	8 17%	7 15%	2 4%
		5 19%	12 46%	7 27%	10 38%	6 23%	4 15%	5 19%	1 4%
	40代 (n=45)	5 36%	7 50%	6 43%	4 29%	3 21%	1 7%	1 7%	3 21%
		1 25%	1 25%	1 25%	1 25%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	50代 (n=46)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	60代 (n=26)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	70代 (n=14)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	80代 (n=4)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
		0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問 14 次の伊丹市内の施設のうち、あなたがこれまでに学びの
ために利用したことがある施設を選択してください。
感じる場合は、どのようなことですか。

<複数回答>



・利用施設の傾向として、最も利用されている施設は「ことば蔵」で、約7割の人が利用経験があります。次いで「スワンホール」「ラスタホール」「昆虫館」の利用が多く、それぞれ約4割の利用率となっています。

・年代別に見ると、10代の約9割が「昆虫館」の利用経験があります。

・「どの施設も利用したことがない」と答えた割合が最も高いのは、30代で13%となっています。

・地域別で見ると、有岡、神津、緑丘小学校区の8割以上が「ことば蔵」を利用しています。

・天神川、桜台、鴻池小学校区の8割以上が「きららホール」を利用しています。

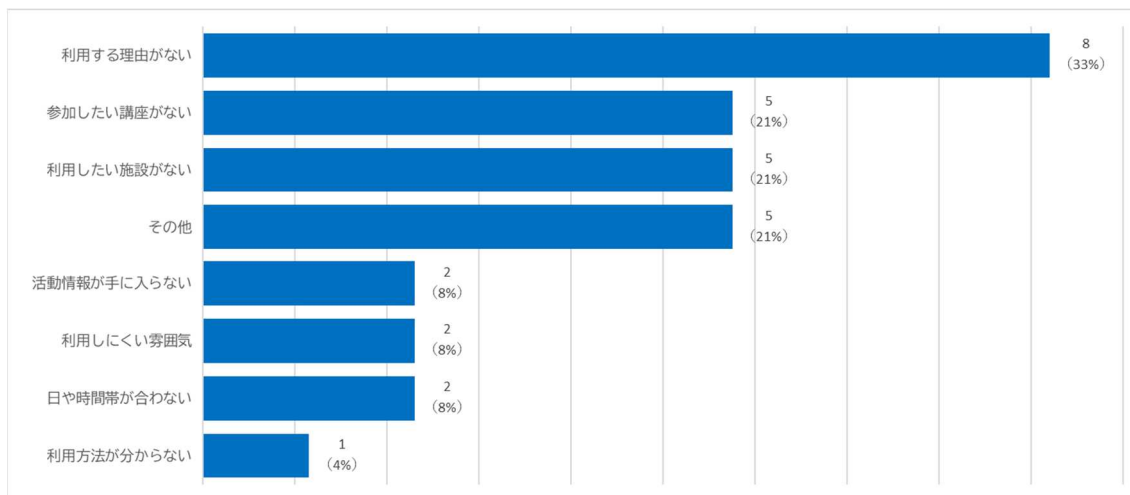
・花里小学校区の8割以上が「ラスタホール」を利用しています。

	ことば蔵	スワンホール	ラストホール	さららホール	市立伊丹ミュージアム	伊丹市昆虫館	こども文化科学館	商工プラザ	こらくる	ふらっと	いたみホール	アイフォニックホール	アイホール	サンシティホール	神津福祉センター	アイ愛センター	いきいきプラザ	神津交流センター	スポーツ、緑体育館など	その他	どの施設も利用したことがない			
全体 (n=365)	249 68%	161 44%	151 41%	118 32%	111 30%	145 40%	87 24%	57 16%	30 8%	23 6%	130 36%	101 28%	39 11%	50 14%	10 3%	40 11%	49 13%	16 4%	105 29%	3 1%	24 7%			
性別	男性 (n=140)	100 71%	62 44%	56 40%	42 30%	33 24%	56 40%	29 21%	15 11%	2 1%	6 4%	39 28%	10 7%	21 15%	0 0%	9 6%	7 5%	5 4%	44 31%	2 1%	11 8%			
	女性 (n=223)	148 66%	98 44%	94 42%	76 34%	77 35%	87 39%	57 26%	41 18%	28 13%	16 7%	90 40%	76 34%	28 13%	29 13%	10 4%	31 14%	41 18%	11 5%	60 27%	1 0%	13 6%		
	その他 (n=2)	1 50%	1 50%	1 50%	0 0%	1 50%	2 100%	1 50%	1 50%	0 0%	1 50%	1 50%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	50 50%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%		
年代別	10代 (n=15)	12 80%	11 73%	6 40%	7 47%	3 20%	13 87%	7 47%	0 0%	3 20%	1 7%	8 53%	4 27%	1 7%	3 20%	0 0%	3 20%	1 7%	1 7%	9 60%	0 0%	0 0%		
	20代 (n=21)	15 71%	7 33%	5 24%	10 48%	4 19%	6 29%	4 19%	2 10%	0 0%	0 0%	5 24%	4 19%	0 0%	2 10%	0 0%	1 5%	0 0%	0 0%	5 24%	0 0%	2 10%		
	30代 (n=56)	34 61%	19 34%	21 38%	10 18%	14 25%	14 25%	11 20%	11 20%	0 0%	3 5%	8 14%	20 36%	17 30%	4 7%	3 5%	1 2%	10 18%	3 5%	12 21%	1 2%	7 13%		
	40代 (n=72)	50 69%	29 40%	25 35%	26 36%	22 31%	25 35%	18 25%	8 11%	8 11%	1 1%	19 26%	20 28%	10 14%	4 6%	4 6%	8 11%	10 14%	3 4%	28 39%	0 0%	6 8%		
	50代 (n=76)	54 71%	30 39%	26 34%	25 33%	25 33%	28 37%	19 25%	13 17%	2 3%	4 5%	23 30%	14 18%	7 11%	1 1%	4 5%	7 9%	5 7%	5 7%	23 30%	1 1%	4 5%		
	60代 (n=62)	38 61%	25 40%	31 50%	17 27%	21 34%	20 32%	13 21%	11 18%	1 2%	4 6%	31 50%	21 34%	7 11%	10 16%	1 2%	10 16%	10 16%	2 3%	14 23%	0 0%	4 6%		
	70代 (n=51)	38 75%	31 61%	28 55%	17 33%	20 39%	17 33%	12 24%	6 12%	6 12%	3 6%	4 8%	21 41%	16 31%	7 14%	3 6%	18 35%	3 6%	18 35%	22 44%	4 8%	0 0%	1 2%	
	80代 (n=12)	8 67%	9 75%	9 75%	6 50%	2 17%	7 58%	2 17%	0 0%	0 0%	0 0%	1 8%	3 25%	2 17%	3 25%	0 0%	3 25%	0 0%	0 0%	3 25%	0 0%	4 33%	1 8%	0 0%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	
校区別	伊丹小学校区 (n=42)	33 79%	17 40%	15 36%	6 14%	18 43%	16 38%	11 26%	15 36%	5 12%	3 7%	23 55%	14 33%	5 12%	4 10%	1 2%	2 5%	4 10%	1 2%	13 31%	0 0%	3 7%		
	稲野小学校区 (n=36)	25 69%	23 64%	13 36%	9 25%	13 36%	10 28%	8 22%	5 14%	2 6%	0 0%	10 28%	7 19%	2 6%	4 11%	3 8%	5 14%	7 19%	3 8%	7 19%	0 0%	2 6%		
	南小学校区 (n=33)	26 79%	7 21%	24 73%	4 12%	6 18%	6 18%	5 15%	4 12%	5 15%	2 6%	12 36%	11 33%	2 6%	3 9%	0 0%	3 9%	4 12%	0 0%	7 21%	0 0%	1 3%		
	神津小学校区 (n=6)	5 83%	2 33%	1 17%	1 17%	1 17%	1 17%	2 33%	1 17%	0 0%	1 17%	3 50%	1 17%	2 33%	1 17%	1 17%	1 17%	0 0%	4 67%	1 17%	0 0%	0 0%		
	緑丘小学校区 (n=15)	12 80%	9 60%	5 33%	6 40%	6 40%	3 20%	3 20%	1 7%	2 13%	0 0%	8 53%	0 0%	8 47%	7 47%	1 7%	1 7%	2 13%	3 20%	3 20%	1 7%	0 0%	0 0%	
	桜台小学校区 (n=16)	10 63%	11 69%	5 31%	13 81%	6 38%	8 50%	5 31%	5 31%	0 0%	1 6%	8 50%	6 38%	5 31%	8 50%	1 6%	3 19%	3 19%	1 6%	9 56%	0 0%	0 0%		
	天神川小学校区 (n=15)	7 47%	8 53%	0 0%	13 87%	5 33%	6 40%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 7%	0 0%	1 7%	0 0%	3 20%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	6 40%	0 0%	0 0%	
	笹原小学校区 (n=18)	11 61%	7 39%	9 50%	7 39%	5 28%	7 39%	3 17%	2 11%	1 6%	2 11%	5 28%	6 33%	3 17%	1 6%	2 11%	2 11%	1 6%	2 11%	1 6%	4 22%	0 0%	1 6%	
	瑞穂小学校区 (n=18)	13 72%	11 61%	4 22%	12 67%	3 17%	8 44%	5 28%	2 11%	1 6%	0 0%	6 33%	7 39%	0 0%	2 11%	0 0%	4 22%	2 11%	0 0%	4 22%	0 0%	8 44%	0 0%	1 6%
	有岡小学校区 (n=25)	21 84%	7 28%	9 36%	4 16%	13 52%	11 44%	7 28%	8 32%	2 8%	2 8%	9 36%	4 16%	2 8%	1 4%	1 4%	1 4%	4 16%	2 8%	5 20%	0 0%	2 8%		
	花里小学校区 (n=5)	3 60%	5 100%	4 80%	3 60%	2 40%	2 40%	1 20%	2 40%	0 0%	1 20%	3 60%	2 40%	2 40%	3 60%	0 0%	2 40%	0 0%	2 40%	2 40%	1 20%	4 80%	0 0%	0 0%
	昆陽里小学校区 (n=13)	8 62%	6 46%	6 46%	0 0%	2 15%	7 54%	7 54%	2 15%	1 8%	2 15%	6 46%	4 31%	2 15%	1 8%	0 0%	2 15%	2 15%	0 0%	4 31%	0 0%	4 31%	0 0%	2 15%
	摂陽小学校区 (n=16)	8 50%	7 44%	12 75%	4 25%	4 25%	7 44%	1 6%	2 13%	0 0%	1 6%	4 25%	3 19%	3 19%	2 13%	4 25%	0 0%	2 13%	3 19%	0 0%	4 25%	6 38%	1 6%	1 6%
	鈴原小学校区 (n=24)	19 79%	8 33%	16 67%	5 21%	4 17%	8 33%	5 21%	4 17%	6 25%	2 8%	10 42%	10 42%	2 8%	2 8%	0 0%	3 13%	2 8%	2 8%	9 38%	1 4%	2 8%	2 8%	
	荻野小学校区 (n=8)	5 63%	3 38%	2 25%	5 63%	1 13%	4 50%	2 25%	1 13%	0 0%	0 0%	3 38%	1 13%	2 25%	0 0%	0 0%	2 25%	1 13%	0 0%	1 13%	0 0%	2 25%	0 0%	2 25%
	池尻小学校区 (n=12)	7 58%	6 50%	4 33%	2 17%	4 33%	8 67%	2 17%	4 33%	1 8%	1 8%	4 33%	5 42%	1 8%	1 8%	0 0%	2 17%	1 8%	2 17%	2 17%	4 33%	0 0%	1 8%	
	鴻池小学校区 (n=14)	7 50%	4 29%	1 7%	12 86%	3 21%	4 29%	2 14%	2 14%	1 7%	0 0%	4 29%	3 21%	0 0%	2 14%	0 0%	3 21%	3 21%	0 0%	3 21%	0 0%	3 21%	1 7%	1 7%
	伊丹市外 (n=49)	25 51%	15 31%	10 20%	5 10%	12 24%	15 31%	9 18%	0 0%	2 4%	0 0%	7 14%	8 16%	5 10%	0 0%	0 0%	1 2%	0 0%	3 6%	1 2%	0 0%	3 6%	6 12%	0 0%

問15 (どの施設も利用したことがない方にお聞きします)

施設を利用していない理由は何ですか。

<複数回答>



・利用しない理由で最も多いのが「利用する理由がない」が33%、次いで「参加したい講座がない」「利用したい施設がない」「その他」が21%となっています。

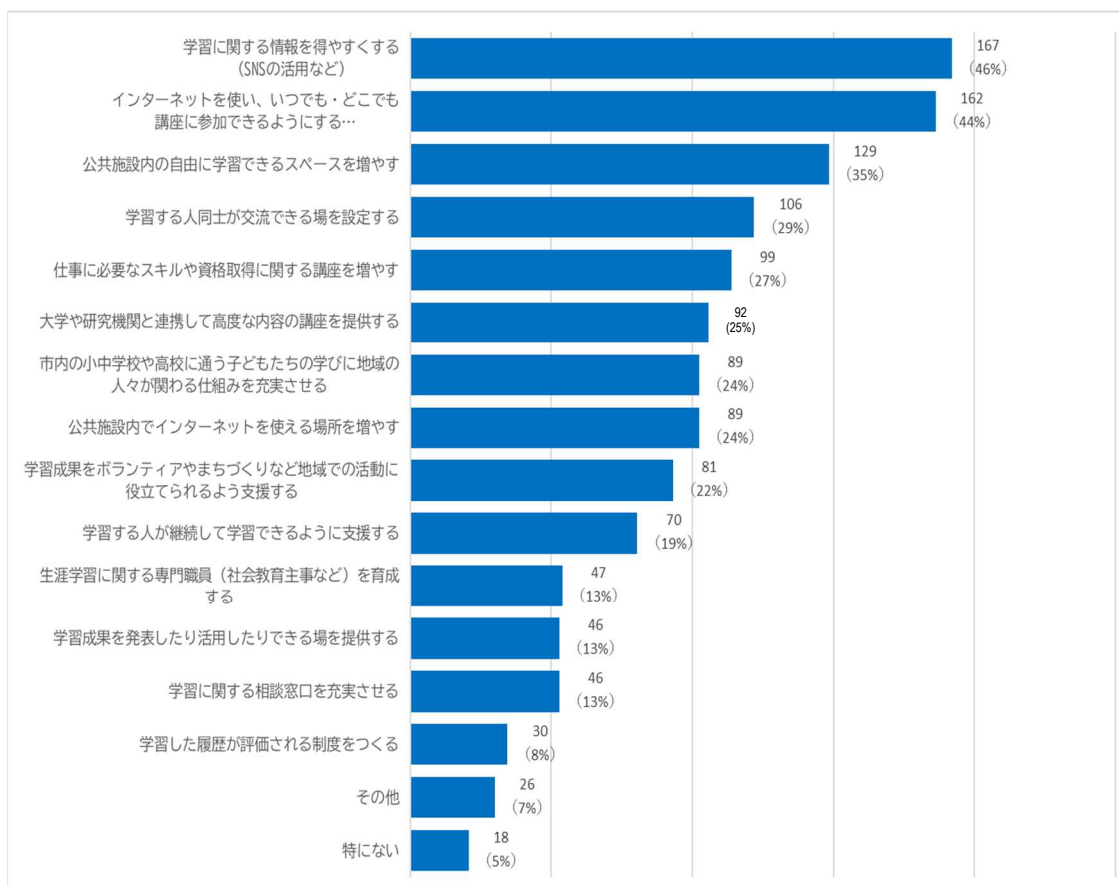
・「活動情報が手に入らない」「利用しにくい雰囲気」「日や時間が合わない」と答えた人は8%となっています。

・年代別では、20代、30代は「利用する必要がない」が5割以上、40代は「利用したい施設がない」が5割と特に目立っています。

		日や時間帯が合わない	利用したい施設がない	利用方法が分からない	利用しにくい雰囲気	参加したい講座がない	活動情報が手に入らない	利用する理由がない	その他
全体 (n=24)		2 8%	5 21%	1 4%	2 8%	5 21%	2 8%	8 33%	5 21%
性別	男性 (n=11)	1 9%	3 27%	1 9%	1 9%	0 0%	1 9%	6 55%	1 9%
	女性 (n=13)	1 8%	2 15%	0 0%	1 8%	5 38%	1 8%	2 15%	4 31%
	その他 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
年代別	10代 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	20代 (n=2)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50%	1 50%
	30代 (n=7)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 14%	0 0%	4 57%	2 29%
	40代 (n=6)	1 17%	3 50%	0 0%	1 17%	2 33%	1 17%	0 0%	0 0%
	50代 (n=4)	0 0%	1 25%	0 0%	0 0%	1 25%	1 25%	2 50%	0 0%
	60代 (n=4)	1 25%	1 25%	1 25%	1 25%	1 25%	0 0%	1 25%	1 25%
	70代 (n=1)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 100%
	80代 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

★伊丹市の生涯学習環境の充実について

問16 生涯学習を盛んにするために、伊丹市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 <複数回答>



・全体的な傾向として、「学習に関する情報を得やすくする (SNS の活用など)」「インターネットを使い、いつでも・どこでも講座に参加できるようにする」が高い支持を得ています。オンラインやオンデマンドの学習機会の充実が求められている。

・10代では「公共施設内の自由に学習できるスペースを増やす」(67%)が最も高い支持を得ています。

・20代では「学習する人同士が交流できる場を設定する」(38%)と最も高い支持を得ています。

・30代、40代では、オンラインやオンデマンドなどのニーズが高く5割程度の方が希望しています。

・50代、60代では、SNSの活用など「学習に関する情報を得やすくする」を支持する人が5～6割と高い状況です。

		学習に関する情報を得やすくする (SNSの活用など)	インターネットを使い、いつでも・どこでも 講座に参加できるようにする (オンラインやオンデマンド)	大学や研究機関と連携して高度な内容の講座を提供する	仕事に必要なスキルや資格取得に関する講座を増やす	公共施設内でインターネットを使える場所を増やす	公共施設内の自由に学習できるスペースを増やす	学習に関する相談窓口を充実させる	学習する人が継続して学習できるように支援する	学習する人同士が交流できる場を設定する	学習した履歴が評価される制度をつくる	学習成果を発表したり活用したりできる場を提供する	学習成果をボランティアやまちづくりなど地域での活動に 役立てられるよう支援する	市内の小中学校や高校に通う子どもたちの学びに地域の 人々が関わる仕組みを充実させる	生涯学習に関する専門職員(社会教育主事など)を育成 する	その他	特 に な い
	全体 (n=365)	167 46%	162 44%	92 25%	99 27%	89 24%	129 35%	46 13%	70 19%	106 29%	30 8%	46 13%	81 22%	89 24%	47 13%	26 7%	18 5%
性 別	男性 (n=140)	62 44%	63 45%	31 22%	33 24%	39 28%	47 34%	13 9%	26 19%	45 32%	13 9%	22 16%	22 16%	34 24%	15 11%	9 6%	7 5%
	女性 (n=223)	105 47%	98 44%	61 27%	66 30%	50 22%	82 37%	32 14%	44 20%	61 27%	17 8%	24 11%	59 26%	55 25%	32 14%	17 8%	10 4%
	その他 (n=2)	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 50%
年 代 別	10代 (n=15)	5 33%	4 27%	5 33%	3 20%	5 33%	10 67%	0 0%	4 27%	2 13%	2 13%	1 7%	0 0%	4 27%	0 0%	0 0%	0 0%
	20代 (n=21)	7 33%	7 33%	7 33%	5 24%	6 29%	7 33%	2 10%	1 5%	8 38%	2 10%	1 5%	1 5%	3 14%	1 5%	1 5%	2 10%
	30代 (n=56)	28 50%	30 54%	11 20%	19 34%	10 18%	12 21%	6 11%	6 11%	13 23%	6 11%	3 5%	13 23%	16 29%	6 11%	2 4%	2 4%
	40代 (n=72)	30 42%	33 46%	17 24%	31 43%	13 18%	24 33%	12 17%	14 19%	17 24%	7 10%	7 10%	16 22%	28 39%	7 10%	11 15%	2 3%
	50代 (n=76)	45 59%	39 51%	17 22%	23 30%	26 34%	32 42%	12 16%	15 20%	29 38%	6 8%	12 16%	15 20%	11 14%	12 16%	3 4%	2 3%
	60代 (n=62)	30 48%	28 45%	18 29%	10 16%	13 21%	21 34%	6 10%	13 21%	20 32%	4 6%	12 19%	17 27%	18 29%	9 15%	3 5%	5 8%
	70代 (n=51)	19 37%	19 37%	17 33%	7 14%	13 25%	20 39%	7 14%	14 27%	14 27%	2 4%	8 16%	18 35%	9 18%	9 18%	6 12%	2 4%
	80代 (n=12)	3 25%	2 17%	0 0%	1 8%	3 25%	3 25%	1 8%	3 25%	3 25%	1 8%	2 17%	1 8%	0 0%	3 25%	0 0%	3 25%
	90代以上 (n=0)	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%

問 17 生涯学習に関する市の取組みについて、ご意見があれば

自由にご記入ください。

(自由記述)

<講座・イベントに関する意見>	
① 講座の種類や内容の充実を望む意見	
・	同じような内容の講座が多い。もっと多彩な視点からの講演・講座を期待する。
・	中国語講座があれば参加したいです。
・	自分に投資できる金額、時間が限られている人は多いと思う。費用などを考えると結局公共のものが目にはいる。しかし、以前に、英語で学ぶ料理という講座を受講したが、学びの目的が曖昧で、講師が突然休んだりと残念だった。少し専門的な、深い内容の講座があればいいと思う。週末や夜など、現役で仕事をしている人に参加しやすい設定もしてほしい。オンラインでライブでなら参加しやすい。
・	今小学生が学んでいる、新しい教材を使って同じレベルの学習がしてみたい。タブレットを使ったら、英語学習をしたり、出来れば子供たちと一緒にまたは、オンラインによる講座(オンデマンド)などで教育をうけたい。難しく深い、歴史や美術などつつきにくい。
・	高齢者のための取り組みやカルチャースクール的なものではなく、子どもや現役世代が本質的に学び考え気づきを得るような取り組みをしてほしい。
・	講師の都合や予算との兼ね合いがあることは承知するが、市が提供する生涯学習の場は、どうしても特色のないものになりがちのような印象を受ける。情報化社会により、市民が学びたいと思う分野は、さまざまな方面に拡大しており、通り一辺倒な講座を展開しても、興味関心を得るのも難しくなってきていると感じる。高齢化社会の中で、地域の中で孤立せず、生涯つながりを得るためには、生涯学習が一番効果的であると思うが、そこに参加したい！という市民により多く思ってもらうことが重要であると考え。より多くの市民参加を促すためには、従来の観点だけによらない、様々な企画を提示していくことが必要ではないか。
・	もう少し魅力ある学習があれば良いなと思います 平日フルタイムで働いているので、夜や土日の講座を増やしてほしいです
・	学びについては日頃の習慣が大切であると思います。しかしながら、昨今はYouTubeやゲーム機、スマートフォンが急激に普及していますから、習慣化が阻害される要因になっています。学校でいくら、これら媒体の取り扱いに注意を促しても家庭間でも様々な考え方もつ世帯もありますので、特に小学生、中学生は流されてしまいます。義務教育中の人づくりは生涯に影響が出てきますので、心を育てる教育を市にはお願いしたいです。
② 平日昼間以外の時間帯(夜間・週末)での開催を希望する意見	
・	参加したいと思う講座が多いが、平日昼間のもが多く、仕事の都合で参加できないものが多い。働いている人も参加しやすい時間帯の講座を開講して欲しい。
・	土日の講座やイベントが少ない
・	現役社会人の間にいろいろ学びたい。そのためには平日夜間の学習の場を充実させて欲しいと思います。個人的には外国語(韓国語)の学習機会があれば嬉しいです。
・	もう少し魅力ある学習があれば良いなと思います 平日フルタイムで働いているので、夜や土日の講座を増やしてほしいです
・	・料理教室や趣味の講座など、平日の日中に開催していることが多いので土日にも開催してほしい。(土日は子供向けの講座が多いように感じる)
③ 定員が少なく参加できない講座があるという意見	
・	定員が、いっぱい、参加出来ない講座が、あったり 以前あった講座が、コロナ禍以降 なくなったりと 寂しく感じる
④ 講座の曜日や時間を変更してほしいという意見	
・	講座の開催が毎年同じ曜日、同時間開催があると思います。できれば次年度は、別の曜日、時間も変更することを検討していただければと思います。

<施設・環境に関する意見>	
①自由スペースなどの拡充や利用時間の延長を望む意見	
・	図書館にも自習するスペースがあり、非常に助かっています。近隣の自治体、特に都市圏の図書館には自習するスペースがないのがほとんどなのでこれをきっかけに図書館に足を運ぶ学生や社会人も多いと思います。訪れてはじめて自習スペースがあると知ったので大体的にもっと広く周知すればさらに市民の図書館の利用頻度が増加するなと思います。また市内の様々な場所自習スペースを増設して人との憩いの場所を提供できればなと願っています。
・	ことば蔵の自習室はよく使わせて頂いており、助かっています！学びについて同世代の方々と交流する機会がもっとあっていいかもしれませんね。
・	自習スペースの拡大を希望します 平日はもちろん、土日でも22時ぐらいまでは開放してほしい
・	遅くまで空いている自習室が欲しい。
②公共施設のWiFi環境の整備を求める意見	
・	ことば蔵、市役所の公共Wi-Fiの整備をお願いします
③施設の立地が遠く、アクセスが悪いという意見	
・	自動車がないので、色々な会場に行きにくく、ついつい億劫になってしまいます。参加したい気持ちは十分にあります。
・	学びたいことはあるけど、どの施設も家から遠く、徒歩では行きにくいので不便で行こうと思えない。
・	家からラスタホールに行くのに、バス2本を乗り継がねばならないです。ですが伊丹市営バスの本数が減ってしまいとても不便で、益々行きにくくなりました。施設の利便性は重要だと考えます。
・	ラスタホールのような施設が近くにあると、もっと楽に運動や健康づくりができるのと思っています。伊丹の北のほうにも作ってほしいです。(スポーツセンターはなかなかアクセスが悪いため)
④障がい者や高齢者が利用しやすい環境整備を望む意見	
・	障がい者がもっと社会参加しやすい仕組み作りを求めます。
・	高齢者の学び易さをお願いします、各施設に気軽に通えるように市バスの運行を増やしてほしい。
<情報提供・広報に関する意見>	
①生涯学習に関する情報発信の充実を求める意見	
・	もっと情報を知らせてほしい
・	地域の発展に向けて今、以上に様々な情報を発信してください。
・	広報やいたみメール等で一覧にして発信してもらいたいです
・	生涯学習のポータルサイト 市内全ての施設の事業や講座を集約し、発信する。そのなかでスポーツや資格、文化などカテゴリー別に検索できたり、施設で検索できたりできたら便利かもしれません。今の広報伊丹では紙面が狭く、内容もみにくいため、いろんな施設が独自におもしろい事業、講座を展開しているのに、もったいないと思っています。
・	生涯学習に関する情報提供は、市民全体への広報に加えて、ターゲット層への効果的な情報提供もしてほしいです。例えば、一度講座受講したら、その後関連講座の案内を流してもらえると、より意欲がわいたり、継続して学ぼうという気になるので、ぜひお願いします。
・	継続的、体系的の情報提供を今後もしてほしいです。
・	伊丹市内の学習講座やイベント、ボランティア募集等の情報が集約された検索サイト(アプリ)があれば、やりたいことや自分に合ったものを見つけられると思います。

②地域の情報も掲載してほしい。	
・	小学生の子どもは、ファミリー星空観察会や工作クラブに参加したことがあります。その情報のほとんどは市の広報誌です。毎月2回、必ず目を通します。市が主催するイベントだけでなく、町のお寺がしているイベントなどの地域情報ももっと掲載されていると嬉しいです。
③移動図書館の実施を希望する意見	
・	移動図書館を公園や伊丹市のイベントで行って欲しいです。本は学習において、手軽で赤ちゃんから高齢者まで学べる機会をくれるので、より借りやすい場が増えると、嬉しいです。いつも広報楽しみにしています! ありがとうございます!
<人材活用・交流に関する意見>	
①教える人の固定化を感じ、新しい人材の登用を望む意見	
・	教えている人、分野が固定化されている印象がある。教えたい人をもっと広く募ってほしい。
②世代間交流の機会を設けて欲しいという意見	
・	様々な自立された活動をされている方々と、交流できるイベントを 実施してもらいたい
・	どんな年代の人でも参加しやすく、続けやすいようになれば良いと思います。長年やっておられる方がいると、新しく入った人は意見や、考えを言いにくい事もあると思います。それを仲介(橋渡し)するような、市の手助けがあると助かります。生涯学習は、健康寿命や、地域の健全なあり方、学校と地域、世代間交流、良い効果ばかりです! これからも力を入れて頂きたいです!
・	年寄りと子どもたちとの交流の場が簡単にできる場所があれば良いかな。今まで私が身につけたキャリアなど、子どもたちと一緒に短時間でも楽しく交流したい。(昔の言い方なら鍵っ子、特に引きこもりの子達)
・	誰でも気軽に集まる場所→そこに行けば誰かいて、話ができたり本を読んだり誰かとつながっていると感じられるような場所があると、地域の結びつきもできてくると思う。
③市民の経験や知識を活かせる仕組みづくりを求める意見	
・	生涯学習→伊丹市のために役立つ活動 と、スムーズに力を発揮できる場所があったら良いと思います
・	定年退職した後、自分の経験を地域に活かすことができれば良いなと思っていましたが、なかなか勇気が出ません。現役を退いたらすっかり自信も無くしてしまっていたのですが、公民館の動画編集講座に参加してみたところ、とても楽しくて、今も色々な動画を作って楽しんでます。先週から青少年センターの韓国語講座にも入り、同じ年代の方と楽しく勉強できました。また先生もとても優しくかったです。これからも自分に自信が持てるよう意欲的に挑戦しようと思える講座があればいいなと考えています。以前、産業振興センターでパソコン講座がありましたが、また再開してほしいです。
・	退職した高齢者は、総務省の内容通り増加している。その人たちの経験を活かし、学校教育での専門のみの教授に参加させることは、いろいろな意味から有益。免許は不要な条件を取り込みましょう。教師も負担減になります。
<その他の意見>	
①生涯学習の必要性や重要性を述べる意見	
・	人生100年時代と言われておりますので、生涯学習の必要性が益々高まっていると思います。また、定年延長などで元氣なうちは働く人が増えており、リスキリングの支援をしていただければ、ありがたいです。
・	人生100年時代と言われており、定年延長等によりリスキリングの必要性もよく耳にします。何歳になっても誰かの役に立っていることが生き甲斐に繋がると思います。
・	いずれの分野でも 学んだ事を活かせる場を設けられていれば 生涯学が事の意義もあり 生きがいになっていくかも知れません。
・	個人的には、「生きがい」となる生涯学習に焦点を当ててみて欲しいと思いました。もっと趣味や没頭できることを探して、今後の人生を豊かにしたいです。これからも頑張ってください!
・	高齢者の健康寿命を延ばす活動。
・	市と連携した活動の場が多いことは評価している コンパクトな市(面積)なので、学習や活動もしやすい

②特に要望はないという意見	
・	特になし（4人）
・	今のところ必要性を感じていない
・	今のところ十分
③その他の具体的な提案	
・	<p>■提案内容 地域のデジタル格差を解消するために、市が「デジタルに長けた人材」を活用・育成し、デジタルが苦手な市民を支える仕組みを構築する。</p> <p>■具体的な仕組み 1. 「デジタルヘルパー」制度の創設 市がITスキルを持つ民間人材を「デジタルヘルパー」として認定。高齢者や機器に不慣れな市民が、日常の困りごと（スマホ操作、行政手続き、SNS活用など）を気軽に相談できる体制を整備。 2. 「デジタル駆け込み寺」の設置 公民館や図書館などを活用し、誰でも立ち寄れる「デジタル相談窓口」を設置。昔の「寺子屋」や「お寺」のように、困ったときに頼れる地域の支え合い拠点とする。</p> <p>■支援体制と運営 1. 人材育成のための講座・研修 デジタルヘルパーや相談員として活動するためのスキル講座や育成研修を市が助成。幅広い世代（学生・主婦・リタイア層など）が対象。 2. スピード重視の民間委託 デジタル技術の進化は早く、行政単独では対応が難しい面もあるため、民間団体や事業者と連携・委託し、柔軟かつ迅速な対応を図る。市の関わり：場所の提供、補助金、後援など</p>
・	小学校や公共施設等を地域社会が利用できる環境を整えて地域のコミュニケーションを円滑にできる取り組みを進めてほしい
・	子どもと共に学ぶ英語学習、家で英語学習につながる取り組みがあれば、是非参加したい。スポーツを始めたいが一般の料金がもう少し下がれば利用しやすい。ラスタホールのフィットネスも9時から利用できれば、子育て世代の利用者が増えると感じる。
・	こどもサポーターだけでなく、社会人でも参加しやすいように 地域サポーター（社会人ボランティア）を作してほしい。
・	ボランティア活動など周知を幅広くする 例えばこども食堂なども、ボランティアとして参加したいがどこに連絡するかわからない、わかりにくい
・	インターネットで講座や動画を配信していつでも見れるようにしてほしい。資格取得のための参考書や問題集の新しい年度のを多数置いてほしい。パソコンやスマホなどの使い方が書かれた本も新しいものを揃えて欲しい。大人向けもこども向けのようにネットで読めるようにしてほしい。音声での本も聞けるようにしてほしい。料理本やお菓子本の分厚い参考書も置いてほしい。
・	広報で気になる講座があっても、平日の昼に実施のものが多く、高齢者や専業主婦の方しか参加できそうにないのが残念です。働く人に向けても継続しやすい時間帯や日時で設定して欲しいです。
・	格安での講座受講。その際に子供を預かって頂ける環境があれば学べる。
・	小中高の勉強を教えあえる(分からないところの質問対応など)環境を作る。または、その機会を作る。
・	障がい者のための楽しめる場所づくり 障がい者優先
・	税金で運営される以上、費用対効果の検証を特定のNPOなどに便宜が図られることのないよう公正な運営を。
・	低所得者が学習しやすくする為、もっと費用を下げしてほしい。ジム(ラスタ)以外費用が無料のものしか参加できていない。もっと学びたいのに。
・	安価で利用できる講座を希望します。

3. 生涯学習アンケート用紙

問1 あなたの年代を教えてください。

当てはまる番号に丸をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| ① 10代 | ⑥ 60代 |
| ② 20代 | ⑦ 70代 |
| ③ 30代 | ⑧ 80代 |
| ④ 40代 | ⑨ 90代以上 |
| ⑤ 50代 | |

問2 あなたの性別を教えてください。

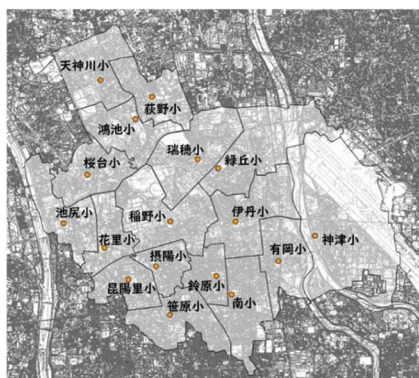
当てはまる番号に丸をつけてください。

- ① 男性
- ② 女性
- ③ その他

問3 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。

当てはまる番号に丸をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ① 伊丹小学校区 | ⑦ 天神川小学校区 | ⑬ 摂陽小学校区 |
| ② 稲野小学校区 | ⑧ 笹原小学校区 | ⑭ 鈴原小学校区 |
| ③ 南小学校区 | ⑨ 瑞穂小学校区 | ⑮ 荻野小学校区 |
| ④ 神津小学校区 | ⑩ 有岡小学校区 | ⑯ 池尻小学校区 |
| ⑤ 緑丘小学校区 | ⑪ 花里小学校区 | ⑰ 鴻池小学校区 |
| ⑥ 桜台小学校区 | ⑫ 昆陽里小学校区 | ⑱ 伊丹市外 |



★生きがいについて

問 4 あなたの生きがいは何ですか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 仕事
- ② 学業
- ③ 家族
- ④ 友人との交流
- ⑤ スポーツ・健康づくり
- ⑥ 趣味・レジャー
- ⑦ 自主的な学習（語学・教養・資格取得など）
- ⑧ 地域活動やボランティア活動による社会貢献
- ⑨ その他（)
- ⑩ わからない
- ⑪ 生きがいがない

★学びについて

問 5 あなたはこの1年間にどのようなことを学んだり身につけたりしましたか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① スポーツ・レクリエーション・健康づくり
- ② 語学・教養・文化芸術
- ③ 暮らしや生活に関すること（料理・DIY・資産形成など）
- ④ パソコン・スマートフォン・インターネットの使い方
- ⑤ 子育て・教育に関すること
- ⑥ 仕事・就職のための知識・技術・資格の取得
- ⑦ 地域活動・ボランティア・NPO活動
- ⑧ 社会的課題に関すること（高齢社会・環境・人権・まちづくりなど）
- ⑨ その他（)
- ⑩ 学んだことはない

※⑩を選択した方は、問 8 に進んでください。

それ以外の方は、問 6 に進んでください。

問 6 (この1年間に学びがあった方にお聞きします) どのような方法で学びましたか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 市や県などの公共施設での講座や教室
- ② 民間のカルチャースクール・スポーツクラブ・教室など
- ③ 自主的なグループ・サークル・団体など
- ④ 通信教育・放送大学
- ⑤ 本・雑誌・新聞
- ⑥ インターネット
- ⑦ テレビ・ラジオ
- ⑧ その他 ()

問 7 (この1年間に学びがあった方にお聞きします)
学ぶための情報を、どのように得ていますか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 市の広報紙「広報伊丹」
- ② SNS (X、Instagram、Facebook など)
- ③ ホームページ
- ④ その他インターネット
- ⑤ 新聞・テレビ・ラジオ
- ⑥ チラシやポスター
- ⑦ 回覧板や地域の掲示板
- ⑧ 家族・友人からの口コミ
- ⑨ その他 ()
- ⑩ 情報を得る場がない

**問 8 何かを学ぶことに対して、難しさや課題を感じますか。
感じる場合は、どのようなことですか。**

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 忙しくて時間がない
- ② 講座などの日程や時間帯が合わない
- ③ 身近なところに学習する場がない
- ④ 費用がかかる
- ⑤ 学んでも評価されない
- ⑥ 学ぶために必要な情報が入手できない
- ⑦ 一緒に学ぶ仲間がいない
- ⑧ 病気や障がいなどにより学ぶことが難しい
- ⑨ 学びたいが、何をしたいかわからない
- ⑩ 学びたいことがない
- ⑪ その他 ()
- ⑫ 特にない (課題は感じていない)

問 9 これから新たに学びたいことは何ですか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① スポーツ・レクリエーション・健康づくり
- ② 語学・教養・文化芸術
- ③ 暮らしや生活に関すること (料理・DIY・資産形成など)
- ④ パソコン・スマートフォン・インターネットの使い方
- ⑤ 子育て・教育に関すること
- ⑥ 仕事上の知識・技術・資格の取得
- ⑦ 地域活動・ボランティア・NPO 活動
- ⑧ 社会的課題に関すること (高齢社会・環境・人権・まちづくりなど)
- ⑨ その他 ()
- ⑩ 学びたいことはない

問 10 学びをどのようなことに役立てたいですか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 生きがいづくり
- ② 健康づくり
- ③ 仕事や就職に必要な知識や技術を身につける
- ④ 生活に役立つ知識や技術を身につける
- ⑤ 資格を取得する
- ⑥ 教養を深める
- ⑦ 社会の変化に対応する
- ⑧ 仲間をつくり、人とのつながりを広げる
- ⑨ 住んでいる地域とのつながりをつくる
- ⑩ 誰かの役に立つ
- ⑪ 地域や社会の課題を解決する
- ⑫ その他 ()
- ⑬ 特にない

★地域での活動について

問 11 あなたはご自身の知識や経験を、地域での活動やボランティア活動に活かしたいと思いませんか。

もっともあてはまる番号に丸をつけてください。

- ① すでに活かしている
- ② まだできていないが、活かしてみたい
- ③ 活かしたくない
- ④ わからない

※①を選択した方は、問 12 に進んでください。

②を選択した方は、問 13 に進んでください。

それ以外の方は、問 14 に進んでください。

問 12 (すでに活かしている方)
どのような活動にご自身の知識や経験を活かしていますか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 地域のイベントやお祭りなどの活動
- ② 子どもたちの学びや成長を支える活動
- ③ 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
- ④ 文化芸術、伝統文化、観光などを発信する活動
- ⑤ スポーツやレクリエーションを普及する活動
- ⑥ 清掃などのボランティア活動
- ⑦ 防災訓練や防犯などの活動
- ⑧ その他 ()

※問 14 に進んでください。

問 13 (活かしてみたい方)
どのような活動にご自身の知識や経験を活かしてみたいですか。

あてはまる番号すべてに丸をつけてください。

- ① 地域のイベントやお祭りなどの活動
- ② 子どもたちの学びや成長を支える活動
- ③ 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
- ④ 文化芸術、伝統文化、観光などを発信する活動
- ⑤ スポーツやレクリエーションを普及する活動
- ⑥ 清掃などのボランティア活動
- ⑦ 防災訓練や防犯などの活動
- ⑧ その他 ()

問 17 生涯学習に関する市の取組みについて、ご意見があれば
自由にご記入ください。(自由記述)

アンケートは以上となります。ありがとうございました。